AIT news

AICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY

愛知工業大学 www.ait.ac.jp

愛工大から、いちばんHOTな
NEWSをお届けします。

vol.47

2016年8月25日発行
〈年3回〉

【編集・発行】名古屋電気学園総務部広報課
〒470-0392 愛知県豊田市八草町八千草1247
tel.0565-48-8177(直通)

2016年6月、八草キャンパス中央に
「セントラルガーデン」誕生!!

6月、八草キャンパス新2号館の向かい側に新食堂棟が完成しました。鉄筋コンクリート2階建ての「セントラルテラス」には、これまでも八草キャンパスで学生たちの食を支えてきた「カフェ&レスト セントラル」と「マイティーハウス」がそれぞれ移転し、隣接する広場と合わせて『セントラルガーデン』と名付けられました。緑に囲まれたセントラルガーデンは、学生たちのくつろぎや交流の場としてキャンパスの賑やかな拠点になります。天気の良い日はテラス席で食事をすることも可能!自然の中でリフレッシュすることで、さらに集中して学びや研究に取り組むことができます。

PICK-UP!

10月8日(土)・9日(日)開催! 愛工大祭の見どころを紹介します

今年のテーマは「Jump!」ご来場者様もスタッフも、みんなが楽しめる大学祭を目指しています。

見どころ1 愛工大と言えば、工科展!

愛工大ならではの研究や挑戦の成果が大公開されます。

見どころ2 企画盛りだくさんのステージ!

注目の芸人さんやバンドも登場。参加型企画もあります。

見どころ3 「セントラルテラス」で大冒険!

新食堂棟で謎解き脱出ゲーム&アトラクションゲームにチャレンジできます。

※写真はこれまでの学祭のものです。

約70名の実行委員で
準備中です。
多くの方のご来場を
お待ちしています!

第56回 愛知工業大学大学祭実行委員長
工学部電気学科 電子情報工学専攻3年
松本憲保さん

■建学の精神 自由・愛・正義 ■教育モットー 創造と人間性

授業や大学プロジェクト以外でも！

ものづくり × AIT SPIRITS　AITの誇る創造空間

みらい工房でものづくりを楽しもう!!

授業や学生チャレンジプロジェクトなどで利用されているイメージが強い「みらい工房」ですが、そんなイメージとはちょっと違った取り組みにも利用されています。今回は自由な発想で生まれた作品たちを紹介します。

01 技術指導員 編　ガソリン車を電気自動車に！大人が楽しむ姿を見せたい

▲モーターとコントローラーが納まったEVミニのエンジンルーム

学生に教えながらスキルアップ。ここは自分にとって天国だ！

工房を利用する学生のあらゆる疑問に答え、道具選びや使い方の指導、技法をアドバイスし、時には一緒に考える。みらい工房の頼れる技術指導員・浅井さん（本学OB）は、元々産業ロボットの会社に勤めていた。しかし、どうしても車に関わる仕事がしたいという強い思いから退社。整備士の資格を取得するなど車の“修行”をしていた。「そんな私をみらい工房へ誘ってくださったのが初代みらい工房責任者だった電気学科の先生。ものづくりが好きな私にとって天国みたいなところでした。学生への指導と並行して、自分のやりたいこともできます。どんな質問にも対応するために、ここでの作業はすべて指導につながること、自分もさらにスキルアップしていくことを常に考えて行っています」

浅井さんの“やりたいこと”とは旧車を電気自動車に生まれ変わらせること。古い車が大好きで、専門は電気・電子。ならば愛着のある旧車をメンテナンスの手間から解放される電気自動車に改造しよう。この方法で愛車に末永く乗り続ける人が増えてくれたら…。そんな思いを胸に最初に挑戦したローバーミニは、悪戦苦闘の末、ナンバー獲得までに5年余の時間がかかった。試行錯誤の上に得られる達成感を学生たちにもぜひ感じてもらいたいと「みらい工房で電気自動車を作ろう！」とポスターを貼り出したところ「やってみたい！」と数人の学生が集まりプロジェクト第2弾がスタート。学生たちは必要な部品やパーツを自分の手で作り出す作業を通して、自然と加工技術を身につけた。

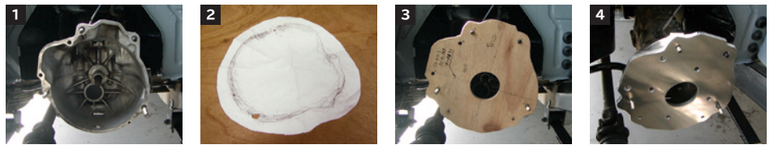
「やってみたい」が実現できる。こんな恵まれた環境、他にはない！

2台目のスズキジムニーは、これまでの経験を活かし2年ほどで完成。その後も学生たちから声がかかれば、知人から古い自動車を譲り受けるなどして学生たちと一緒にガソリン車を電気自動車に作り替えてきた。これまでに3台の電気自動車を完成させ、その都度、学生たち自身がキャンパス内をテスト走行した。自分の手掛けた“作品”を自分で動かすのはまさに至福の時だ。学生たちはこの経験を通じて得た知識や技術を武器に、自信を持って就活に臨んだという。現在は自動車メーカーに勤務する者も。

学生たちへの指導において難しいのは、技術的なことよりも、学生にどこまで考えさせればいいのか見極めることだという。一人一人の個性やスキル、それまでの作業の進行状況、そして残り時間も考慮しての難しいジャッジである、と浅井さんは語る。

「設備の整ったみらい工房でできないことはまずありません。好きなものが好きなように作れる環境を利用しない手はないです。自分で図面を描いて自分で加工する人は最強の設計者になれます。きっかけは何でもいいから一度訪ねてみてください」。

部品の製作工程


1 ミッション結合用アルミプレートを製作　2 まずは紙をあて鉛筆でこすりながら形状を写し取る　3 次に、実際に製作するアルミプレートのサンプルを板で製作。装着の具合を微調整する　4 サンプル通りにアルミプレートを製作し、ミッションに装着

改造中の3台目ジムニーと▶

◀ミッションとモータをチェーンブロックで吊り上げながらドッキング。ブロックを取り付ける簡易クレーンも自作。

• INFORMATION •

ユニークな旧車を電気自動車に改造したい!! やる気のある学生を募集しています。

浅井さんと一緒に旧車を電気自動車に改造してみたいという向上心ある学生を募集しています。経験豊富な浅井さんの感性や技術を間近で見て習得することができますよ!!興味のある方はお気軽に「みらい工房」へお訪ねください。

機械学科非常勤講師
みらい工房管理担当/技術指導員
浅井 伸治さん

02 卒業生 編　OB・OGもウェルカム！車好きには最適な環境

本学OBで機械学科講師の武田亘平さんは学生時代からみらい工房の愛用者。利用歴は約10年！現在は同窓生の髙田武弥さんと二人で仕事がオフの週末はみらい工房に訪れる。中古のミニを購入した武田さんはコツコツと修理を続け、髙田さんは趣味のサーフィンを楽しむために大型RV車をキャンピング仕様に改造する。時にはお互いに手伝いながら、それぞれが自分のこだわりを愛車に反映する作業を楽しんでいる。

大型RV車とミニ。大抵の部品は材料も自由に使って作ることができてしまうので、どちらにとってもみらい工房はいい環境だ。「部品づくりには3Dプリンターも駆使して、思う存分作業をしました」。みらい工房の正面に広がる開放的な芝生の庭で、いつも持参したお昼ごはんを食べるふたり。「レトルトカレーもここで食べると旨さが違います」。

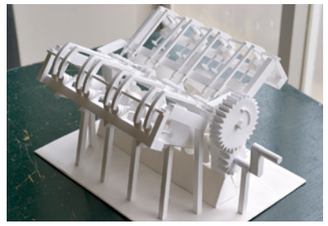
ランドクルーザーを改造してキャンピングカーにした髙田さん。
2人は2011年大学院工学研究科博士前期課程修了まで一緒に学生時代を過ごした。

工学部機械学科 講師
武田 亘平さん

03 趣味 編　まさに“紙”ワザ！驚きの紙製エンジン

自動車のエンジンを白いケント紙だけで再現した「紙エンジン」。美しいアート作品と見まごう繊細な姿にため息、動くさまには驚嘆の声。子供の頃から紙工作と車が好きだった野原さんは、自動車工学の教科書や動画サイトの3DCGアニメをお手本にひたすら手を動かす。正確な設計図があるわけではないというから尚更すごい。現在行き詰りつつ取り組み中なのはロータリーエンジン。「こんなことができるのも今のうちだけですから」。就活が始まる前に何としても完成させるべく手と脳は格闘の日々である。

みらい工房は広いスペースを独り占めできるのがいい。巨大なカッターマットがすごく重宝しており、いつも使っている。「最初からすごいものをつくろうなんて考えず、まずは簡単なものや小さなものから取り組んでみては」。


手前のハンドルを回すと、エンジンが回転する仕組み。

機械学科機械創造工学専攻3年
野原 遼さん

04 自主研究 編　ミニ水車でエコ発電すべく高校時代から試行錯誤

2人が作るのは、羽の部分が螺旋状になった「螺旋水車」。「少水力発電」をテーマに水車を水道に取り付け、水の勢いだけで回転させて電気を作る研究を続けている。今はどのような水車が電力を生み出すのに適しているか、試行錯誤を続ける日々だ。この水車に取り組むようになったのは高校時代から。始めは普通の水車を製作していたが、徐々に螺旋へと変化し現在4台目。水の流れが見えたほうがいいと羽を入れる筒を透明にして調整している。「みらい工房はいろいろな機械があるのでできることの幅が広がります。指導員の方からのアドバイスも、自分たちではわからないことを教えてもらえてすごく助かります」。まさに、いい物・いい人が揃ったものづくりパラダイスだ。

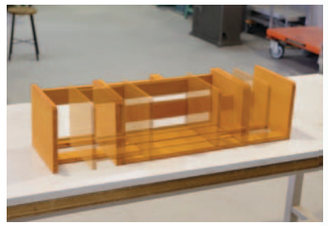
製作途中の螺旋水車。羽を現状の倍程度に増やす予定。

電気学科 電気工学専攻2年
野下 聖仁さん
横井 俊哉さん

05 女子学生 編　自分仕様の本立ては愛着もひとしお

「2年生になって教科書が増えたので、本の量にあわせてスライドする本立てが欲しいと思ったのですが、イメージに合うものがなかなかなかったため、自分で作ることを思いつきました」。安樂さんは木工とは縁のない専攻だが作ることは昔から大好き。バイト先のホームセンターで端材を貰い、塗料などは100円ショップで調達。「作業中の騒音も塗料の臭いも、みらい工房での作業なら心配がいりません」。

機械を使うときは指導員が横に付いていてくれ、木材の厚みにあわせた釘選びなど懇切丁寧なアドバイスもしてくれるため、初心者の不安も一掃。「1回作ったら楽しくて。次は調味料ラックを作りたい」。何かを作りたいと思ったら気軽に何でもできる。ベテランもビギナーもどんどん挑戦してほしい。


「スライド式」に拘った本立ては、およそ2ヶ月間で製作。
※スライドしている様子を、画像合成で表現しています。

土木工学科 防災土木工学専攻2年
安樂 美希さん

みらい工房のご案内

工作機械を自由に使用できる「ものづくり」の創造空間です。

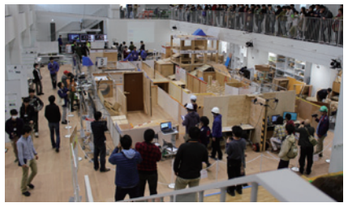
利用案内
■場　　所：八草キャンパス12号館地下
■開館時間：平　日 9:00~21:00
　　土曜日 9:00~16:30
日曜・祝日、年末年始は休館。
その他の臨時休館日・利用時間の変更の際は掲示にてお知らせします。

6ページにてみらい工房の利用手順を紹介しています

お気軽にお越しください!!

RoboCupJAPAN OPEN 2016 本学で開催

3月25日～27日、八草キャンパスで国内最大級のロボット競技会「ロボカップジャパンオープン2016」が開催され、国内外の大学からの競技者や一般観覧者を含め3日間で述べ約3万人が来場しました。ロボカップは競技を通して人工知能やロボット工学などの研究を進め、様々な分野の基礎技術として波及させることを目的としています。自律移動型によるサッカー競技や、災害救助ロボによるレスキュー競技などのほか、人工知能による災害シミュレーションや家庭用介助ロボットなどさまざまな部門に分かれて競技が行われ、また会場は国内外の研究者や学術交流の場としてもにぎわいました。同時開催でジュニア大会も行われ、将来ロボット技術者を目指す中学・高校生が全国から集合。競技参加とともに大学の研究や技術にも触れる貴重な機会と、会場内を見学して回る姿が見られました。来年は名古屋市で世界大会が開催されます。



ロケット研究会 種子島ロケットコンテスト 特別賞受賞

3月に鹿児島県・JAXA種子島宇宙センターなどで開催された「第12回種子島ロケットコンテスト」に、本学のロケット研究会(機械学科・今野彰教授)を代表してリーダーの椙村太紀さん(機械学科3年)を含む4名が参加。本学からは初めての参加でしたが、ロケット部門において滞空時間が28.6秒、定点からの距離が84m(100mを超えると失格)、という結果となり、特に安全性に優れた設計であることが実証され、特別賞(安全賞)を受賞しました。ロケットコンテストは国内の学生らが手作りでモデルロケットや模擬人工衛星の開発・制作・打ち上げを行うものです。同研究会は現在、来年開催される大会に向けて活動中。機械学科を中心に電気学科の学生も在籍しており、次回はロケット部門だけでなくCanSat部門(350mlの缶サイズの模擬人工衛星)でも参加したいと話しています。

情報科学科 CG・メディア研究室　DICOMO2016 5年連続 野口賞 ほか

7月6日～8日、「情報処理学会シンポジウムDICOMO2016」(三重県鳥羽市)が開催され情報科学科水野慎士教授が発表した「2人用テーブルトップ型運動視差立体視CGシステムとインタラクション手法の提案」が、優れたデモ発表に贈られる「野口賞」を受賞しました。水野教授の同賞受賞は5年連続。併設のデジタルコンテンツ発表会でも水野教授が指導するCG・メディア研究室の萩野真歩さん(4年)が「立体映像を共有した対戦ゲーム」で優秀発表賞を受賞。また同研究室からは岩崎妃呂子さん、近藤桃子さん、伊藤玲さん(いずれも3年)も7月にアメリカで開催された世界最高峰のCGに関する国際会議「SIGGRAPH2016」に採択され発表しました。

大学院 電力システム工学研究室　日本太陽エネルギー学会で奨励賞

5月31日、日本太陽エネルギー学会の第6回定時総会で、本学大学院 工学研究科博士前期課程2年電気電子工学専攻の子安拓夫さんが発表した論文「全天雲画像による雲の移動状況及び規模の推定」が「2015年度日本太陽エネルギー学会奨励賞(学生部門)」を受賞しました。

「全天雲画像」を用いた日射量予測についての研究を引き継いだ子安さんは、新たに「太陽の位置」に注目。太陽の位置を基点に雲に向かう太陽光の色彩データから得られる明度や彩度を解析し、雲の移動速度や移動状況、雲高の推定値から雲の規模の推定を可能にして天候の急変に対応、予測精度が上がりました。

AIT TOPICS

＼詳細はWEBで!／ 愛工大 検索

情報科学科 堤幸彦監督が特別講義 デジタル映像処理及び演習

6月14日、本学の客員教授を務める映画監督の堤幸彦氏が情報科学科3年生を対象に、本年度第2回目の「デジタル映像処理及び演習」の特別講義を行いました。

授業は質疑応答形式で行われ、監督は学生たちに、「昨今ではカメラの性能も格段に上がり、誰にでも様々な演出が可能になった。作品全体の内容を損なわなければ、自由に好きなように演出しても構わないと思う」と話し、学生たちの制作意欲を掻き立てました。後期に行われる3回目と4回目の授業では、学生たちの個人作品、グループ作品を堤監督が講評する予定です。

サイバーボランティア 新たに24人を委嘱

7月1日、八草キャンパス1号館で、愛知県警と連携してインターネット上の有害情報の監視などに取り組む「大学生サイバーボランティア」(担当:菱田隆彰情報科学科教授)の委嘱式があり、新たに24人(情報科学科1～4年)のサイバーボランティアが誕生しました。サイバーパトロールのほか、児童・生徒をサイバー犯罪から守るためのワークショップなどにも協力します。本学からのボランティアは累計で62人になりました。

夏のオープンキャンパス開催！ 3,797名がキャンパスライフを体感！

7月23日・24日、八草・自由ヶ丘の両キャンパスでオープンキャンパスが開催され、多数の高校生や保護者で賑わいました。各専攻デモンストレーションや入試説明会、個別相談会、無料学食体験などが行われ、遠方から保護者と来校した高校生や、工業大学に進学を検討する女子学生などが実際にキャンパスを見たり、直接先輩に話を聞いたりして不安や疑問を解消し安心する様子が見られました。次回は10月8日に大学祭と同時開催されます。

情報科学科 ユビキタス情報処理研究室 最優秀・優秀プレゼンテーションをW受賞

7月6日～8日、マルチメディア、分散、協調とモバイル(DICOMO2016)シンポジウムで、情報科学科・梶克彦准教授が発表した「回転磁石マーカに基づくスマートフォン位置推定」が最優秀プレゼンテーション賞を受賞、また梶准教授が率いるユビキタス情報処理研究室の丹羽美乃さん(4年)も「リズムパターン認識に基づく緊急時対策用スマートフォンアプリ」で優秀プレゼンテーション賞を受賞。最優秀賞は上位1%、優秀賞は上位10%程度が受賞という中での快挙です。

地域防災研究センター 活断層調査にドローンを活用

4月下旬～5月上旬の5日間、地域防災研究センターの石黒聡士研究員(自然地理学)が、熊本地震の被災地(熊本県益城町・南阿蘇村)で、全国の研究者とともにドローン(小型無人機)を飛ばし上空から撮影、地面に現れた活断層を調査しました。この調査で初めて発見された活断層もあり、被害状況や活断層の正確な位置などは今後の防災対策に活かされます。

学生フォーミュラ同好会 全日本へ向け最終調整

9月に開催される全日本学生フォーミュラ大会に向けて調整に余念がないAIT学生フォーミュラ同好会が7月2日、3日、マシンのセッティングの確認や、ドライバーのスキルアップなどを目的に静岡県のエコパ(小笠原運動公園)で行われた合同試走会に参加しました。学生が構想・設計から車両の製作までを行い参戦するレースは学びの集大成でもあり、昨年度の順位を上回ろうとチーム一丸となって今回見つかった課題の解決にあたっています。本番は9月6日～10日に同場所で行われます。

社会貢献 卓球部 吉田雅己選手 OB吉村真晴選手が病院を訪問

5月12日、卓球部の吉田雅己選手(経営学科4年)と鬼頭明監督、卓球部OBでリオ五輪出場の吉村真晴選手(名古屋ダイハツ)の3名が名古屋第二赤十字病院(名古屋市昭和区)を訪れ、卓球を通した交流会にゲストとして参加し、入院患者の方々と共に激励しあいました。交流会の後は吉村選手が小児病棟を訪れ、病気と闘う子供たち一人一人に言葉をかけオリンピックでの健闘を約束しました。

情報科学科 内藤准教授が 長尾真記念特別賞を受賞

情報科学科の内藤克浩准教授が、情報処理学会の長尾真記念特別賞を受賞しました。短時間で正しい情報を送るための「協調通信」、スマホで通話などをしながら移動中に利用する電波が携帯電話からWi-Fiなどに切り替わっても、そのまま通信を続けられる「移動透過性」、複数あるチャンネルの中から一つを選び、データを送信するチャネルに周りの端末を短時間で集めることができる通信技術など、3つの枠組みからなる「ネットワーク技術を包括的に取り扱うクロスレイヤアプローチによる新たなモバイルネットワークシステム開発」が高く評価されました。

㊨内藤准教授 ㊧情報処理学会の富田達夫会長

フェンシング部 39年ぶり4回目の総合優勝！

4月から開催されていた「第66回関西学生フェンシングリーグ戦」男子1部において、本学フェンシング部が、フルーレとサーブルで優勝、エペで4位となりました。

その結果、総合点でトップに立ち、39年ぶり4回目となる総合優勝を成し遂げました。

学生時代をどのように過ごすか 低学年向け進路ガイダンス

7月25日、八草キャンパスで1.2年生対象の進路ガイダンスが行われました。身近な話題として「ブラックバイト・企業の見分け方」と題し中部産業連盟の深川晃利氏、税理士法人Bricks&UKの梶浦潮氏が様々な実例を挙げ講義。低学年のうちから就活に対する意識を高めるためキャリアセンターでは今後も様々な取り組みを行っていきます。

スポーツクラブ活動　主な結果報告

■卓球部

【前期日本卓球リーグ仙台大会】/3位
【全日本大学総合卓球選手権大会】/団体の部3位
・藤村 友也(経営学科4年)
前期日本卓球リーグ仙台大会 / 優秀選手賞
東海学生卓球選手権大会 / 男子シングルス優勝
・上江洲 光志(同3年)/松下 大星(同2年)
東海学生卓球選手権大会 / 男子ダブルス優勝
・吉田 雅己(同4年)/堀 大志(同3年)
東海学生卓球選手権大会 / 男子ダブルス準優勝
・吉村 和弘(同2年)
東海学生卓球選手権大会 / 男子シングルス準優勝

■フェンシング部

・佐々木 拓海(経営学科1年)
関西学生フェンシング新人戦 / 男子フルーレ優勝・男子サーブル3位
・島田 翔太(同2年)
東かがわ市長杯フェンシング大会チャレンジカップ 兼 2016年ジュニア・カデ・エペ・サーブル国際大会派遣選考会 / ジュニア男子 サーブル優勝

■ゴルフ部

【中部学生ゴルフ春季1部・2部大学対抗戦】/1部校準優勝
・河合 和眞(経営学科2年)
中部学生ゴルフ春季1部・2部大学対抗戦 / 最優秀選手
全国大学ゴルフ対抗戦 / 個人3位タイ

■ヨット部

・石黒 武志(電気学科2年)/鈴木 空(応用化学科3年)
別所 陸太(経営学科1年)
中部学生ヨット個人選手権大会 / 国際470級優勝
・末永征覇(経営学科2年)/兵藤麗奈(同1年)
中部学生ヨット個人選手権大会 / 国際470級準優勝

Catch-up

本学の研究室のなかから、注目の2つの研究室を紹介します!

ものづくり × 研究室 1 動力工学研究室(機械学科・藤村俊夫教授)

31年間、トヨタ自動車でエンジン開発や車の走り・環境・安全等に従事した経験を活かし、現場で役立つ知識やスキルを学生に伝えています。研究室のモットーは、即戦力の養成。考えを重ねながら、実験機器や簡単なエンジンを設計・実作し、動かす過程の中で即戦力としてのスキルを磨き、主体性を伸ばします。学生フォーミュラ同好会でも指導。学生が制作したフォーミュラカーで大会に参戦しています。

ものづくり × 研究室 2 音響エネルギー研究室(電気学科・小塚晃透教授)

音をエネルギーとして活用するための研究に取り組んでいます。超音波による微小物体の非接触マニピュレーション、熱と音の相互エネルギー変換技術である熱音響システム、超音波霧化、超音波キャビテーション等です。身近な音波ですが、周波数を高くした超音波や、特殊な環境下では面白い現象が見られます。また、グラスハープを使った、音に関するアウトリーチ活動にも取り組んでいます。

AIT STUDENT CHAPTER 23

TEAM A メディア情報研究会・鳥居研究室

編集長：山口諒子　制作：中井優徳　藤重裕二　吉岡航　岩田瑞稀　杉本葵　角田瑞季　戸田祈香

資格取得をバックアップ！　八草キャンパス12号 館1 階

エクステンションセンター

学部の授業に+αできる各種資格講座を運営しています。他にも一般向けのオープンカレッジや、体験イベントの運営をしています。

学科別おすすめ講座

電気学科
電気主任技術者（第三種）

土木工学科
２級土木施工管理技士（学科試験対策）

情報科学科
基本情報技術者

応用化学科
危険物取扱者（甲種）

建築学科
宅地建物取引士

機械学科
CAD利用技術者
3次元CAD利用技術者

経営学科
簿記検定（３級）
FP 技能士（３級）

工業英検の講座を開設しているのは、工業大学ならではの特徴ですね。資格を取得することは社会で活躍する力があることの証明になります。ぜひ意欲的に資格取得にチャレンジしてくださいね。

エクステンションセンターで資格講座を受講するメリット

- 使い慣れた環境で受講できる！
- 学内で受講できるため、移動に時間を取られない！
- ほとんどの講座を撮影しているので空き時間などに復習できる！

H27年度 合格率が高かった講座

- 危険物取扱者（乙種第４類）
- 工業英検４級・３級
- CAD利用技術者２級

全国平均と比べて
合格率 大幅 UP

Q&A

Q エクステンションセンターを設立した目的は何ですか。

A 通常の授業に加え学生さんの資格取得を支援していこうということが最初の目的です。現在は一般向けのオープンカレッジや小・中・高校生向けに体験イベントも行なっています。

Q 学科を問わずおすすめの講座は何ですか。

A ＩＴパスポートとＴＯＥＩＣです。情報・英語は全ての分野においてプラスとなる科目のため、ぜひ挑戦してみてください。

Q 新たな講座を開設することは可能ですか。

A エクステンションセンターの職員に気軽に相談してください。人数が集まれば、開設を検討します。

↑TOEIC 講座の様子

想像から創造へ！　八草キャンパス12号館地下

みらい工房

技術指導員が常駐し、金属加工・木材加工の工具や機械を自由に使用できます。

利用するための手続き

1 手続き
「利用登録申請書」に必要事項を記入し、エクステンションセンターへ提出してください。

2 講習会
講習会を受講すると、後日利用登録証が発行されます。
この講習は時間厳守です！

講習会実施日
毎週 火曜・金曜
時間 12:20~12:50

3 利用1
みらい工房を利用する際に、個人では黄色の、団体では緑色の紙に必要事項を記入し、エクステンションセンターに提出してください。

4 利用2
「利用受付簿」に必要事項を記入し、「利用登録証」を見える所に身に付け指導員に声をかけてから作業を始めます。

あなたの想像を形に！

Q&A

Q みらい工房とはどんなところですか。

A 「自分で発想、自分で計画、自分で製作」をモットーに学生の創作活動をサポートする愛知工業大学独自のものづくり空間です。

Q みらい工房を設置した目的は何ですか。

A 学生たちの手で自由にものづくりができる場所を提供したいという学長の発案で設置されました。

Q どんな目的で利用する人が多いですか。

A 主に授業やサークル、卒業製作などで利用されています。

Q すべての工具や機械は学生だけで利用できますか。

A すべての機械と工具には危険度に合わせて、テープが貼ってあります。緑色は学生だけで利用できます。黄色と赤色が一緒に貼ってある機械は、指導員同伴により利用できます。赤色は危険度が高いため学生は利用できません。

Q 今まで学生が作った作品で面白かったもの、驚いたものは何ですか。

A ケント紙で作られたエンジンの模型です。詳細は二ページで紹介しています。

体験講座

開講日・時間

木材加工入門	第１回	９月 ９日（金）	13:00~	・	第２回	９月24日（土）	13:00~
金属加工入門	第１回	９月16日（金）	13:00~	・	第２回	10月１日（土）	13:00~

日曜大工みたい！

ブックスタンド製作（木材加工編）

カット
パネルソーとスライド丸鋸を使って木材を切る

穴あけ
印をつけてネジ穴をあける

組み立て
電動ドライバーを使って穴をあけたところをネジで止める

最後までしっかり！

重石作り
ボンドを使って２つの木をくっつける

ボンドが乾いたら・・・
完・成！

できた!!

ペンケース製作（金属加工編）

印付け
折り曲げる時の目安となる線を書く

穴あけ
線の交点に穴をあける

安全眼鏡を忘れずに！

カット
コーナーシャーで四隅を切り落とす

曲げ加工
直線曲げ機で四辺を直角に曲げる

慎重に・・・

錆びないように塗料をスプレーをして・・・
完・成！

やったね！

ここまで工具や機械が揃っている大学はなかなかありません。講習会を受けてぜひ有効活用してほしいです。

みらい工房 技術指導員
岡島　宣雄さん

✦編集後記✦

今回はエクステンションセンターとみらい工房の特集です。より多くの学生に利用してもらうために、貴重なお時間をいただき取材をさせてもらいました。快く応じてくださったエクステンションセンターの皆様、みらい工房の岡島様、そして今回の制作に協力していただいたすべての方へこの場を借りてお礼申し上げます。

就職活動は「準備」がすべて！
早期からの就活準備が勝利を生む。備えあれば憂いなし

第1回就職ガイダンス開催

6月20日・21日、八草キャンパスで「第1回就職ガイダンス」が開催され、これから“就活準備”をスタートする学部3年生および大学院1年生で会場は満席となりました。

今回のガイダンスは、まだ就職活動の実感がわかない学生たちに対し、キャリアセンター職員や、企業に内定した先輩たちから“就活準備”の重要さ、“就活準備”の進め方、実際の就職活動とはどのようなものかなど、具体的なアドバイスを交えながら進められました。

先輩からのメッセージ

就職支援プログラムに参加してスタートダッシュしよう！

機械学科4年 稲垣 翔 さん

1 重要！自己分析
身近にいる家族、友人、教員、先輩などに自分の印象を聞き、自分を客観的に分析。自分がどういう人物かを企業にしっかりPRできるようにしよう。

2 重要！企業選択
企業の経営理念と自己分析の結果が合うか、また長く働くイメージができるかを重視しよう。

3 重要！早いスタートで意識を変える
インターンシップや学内外の就活イベントに積極的に参加しよう。3月1日に解禁される企業合同説明会より前から事前準備をしっかりしよう。

現在4年生・大学院2年生の就活スケジュール

- 3/1 説明会解禁 — エントリー 合同企業説明会
- 4月 — 4月・5月で11,300社から求人あり — 企業訪問 個別説明会
- 5月
- 6/1 選考解禁 — 1次試験 集団面接・筆記
- 内々定 — 2次試験 個人面接
- 10/1～ 正式な内定

※現在3年生・大学院1年生（来年3月以降）の就活スケジュールは未定
今後、経団連から発表される採用選考に関する指針に注目！

「就職ノート鉄人2017」を活用しよう！
ワークシートを埋めるだけで自然と企業研究に！
読むだけでも就活に対する意識が変わる！
SPI試験などの練習問題もあり！

企業（業界）によっては選考解禁が3～4月と早まることも。乗り遅れないように志望企業（業界）の研究もお早めに！

キャリアセンター職員 安井 健芳 さん

八草キャンパス 就活支援スケジュール

第2回就職ガイダンス
11/15（火）16（水）

前期①②フォローアップ講座（自己PR・志望動機）
10/17（月）18（火）20（木）21（金）

業界・仕事研究講座
11/29（火）30（水）12/1（木）

履歴書作成講座
12/19（月）20（火）

筆記試験対策講座＆自己採点試験
12/12（月）13（火）15（木）

自由ヶ丘キャンパス 就活支援スケジュール

10/5～隔週水曜日5限に311教室で、就職活動における「自己分析」と「自己アピール」について就活対策講座を開講

※4年生対象の支援イベントは、状況に応じて適宜実施する予定です
※各イベントは日時、タイトルなど変更になる場合がありますので、詳細は必ずホームページやco-netでの案内をご確認ください

そのほかにもさまざまな就活支援講座があります

詳細はキャリアセンターHPで！最新情報をCheck!!

2016年3月卒業生 **実就職率確定!!**
〈2016.5.18現在〉

大学全体 **96.4%**

工学部	経営学部	情報科学部
97.7%	92.5%	94.8%

※実就職率＝就職者数÷［卒業（修了）者数－大学院進学者数］×100

求人社数 **13,433社**

［東洋経済新報社］（2016.5.25発行）
週刊東洋経済 臨時増刊号『本当に強い大学2016』
過去3年間（2013～2015年の卒業生）の累積実就職率学部別ランキング（大学通信調べ）
理工系全国 第3位（私立大で第1位）

［毎日新聞出版］（2016.7.31発行）
サンデー毎日『全国240大学「実就職」ランキング』（卒業者数1000人以上）（大学通信調べ）
全国 第3位（私立大で第2位）

Schedule
〈2016年度 後期〉9月～12月

9 September	17日（土）	夏季休業終了
	22日（木）	後期授業開始
10 October	6日（木）～9日（日）	大学祭
11 November	2日（水）	防災訓練
	8日（火）	駅伝大会
	13日（日）	創立記念日
12 December	26日（月）	冬季休業開始

facebook
http://www.facebook.com/aikoudai
806人の人が いいね！ と言っています
※2016年7月現在

学内イベント、研究室の様子、クラブ活動、学食の様子など、愛知工業大学の色々な情報をどんどん発信していきます！
Facebookでフォローして、愛工大を盛り上げよう！

YouTube 愛知工業大学の公式チャンネルもご覧ください。

©AITnewsは瑞若会（愛知工業大学同窓会）・後援会より支援を受けており、瑞若会・後援会の年度予算から制作費の一部が拠出されています。